

安心の社会へ、前進の一步

神奈川県議会議員 おの でら 慎一郎

本年4月の選挙で旭区の皆様よりご信任をいただきました。6回目の当選を果たすことができました。

これからの4年間、県民福祉の向上に向け邁進してまいります。

早速、6月の県議会において、鈴木ひでし議員（鶴見区選出）とともに公明党県議団の一員として

て、本会議の質問に立ちました。

ここでは、公明党からの提案に対し、前向きな答弁のあった項目の中から、その一部をご報告いたします。

新たな小口融資と価格交渉ツールで小規模事業者を支援

交渉を、県として支援すべきではないかと提案。

必要となる資料作成支援ツールを作成し、下請企業が価格転嫁するための

ページで提供すると答えました。

帯状疱疹ワクチン接種費用の助成へ市町村の意向調査

激しい痛みを生じ、重症化の恐れがある帯状疱疹は、ワクチンで予防できることが明らかになっていますが、接種費用が高額なため、行政による補助が望まれていると訴えました。

県は、国に対し早期の定期接種化を要望するとともに、予防接種の事業主体である市町村の意向を確認の上、接種費用の

補助を検討すると回答しました。

リーススクールに経済的支援は可能か積極的に検討を

リーススクールは、不登校の児童・生徒への支援について重要な役割を担っているものの、法令上の位置づけが明確ではなく、行政からの直接的支援にも制約があります。しかし、他の都県では、リーススクールや保護者に対し経済的支援を行っているケースもあるため、本県でも検討できないかを尋ねました。

県教委からは、どのような支援ができるのか、国の動きも見据えつつ（子ども政策を担う）知事部局と連携しながら、しっかりと検討していくという答弁を得ました。



公明党 神奈川県議会議員
おの でら 慎一郎
 事務所/旭区二俣川2-58-12 Sビル2A
☎045-442-8100
 ホームページ <http://www.onodera-s.com/>

また、光熱費や原材料価格の増加分を適切に価格転嫁できていない中小・小規模事業者の価格